



大牟田リサイクル発電 株式会社

大牟田リサイクル発電所は、ごみ焼却によるダイオキシン類対策と余熱発電(サーマルリサイクル)を目的として、RDFの焼却並びに発電を行っています。



大牟田リサイクル発電株式会社



会社概要

大牟田リサイクル発電株式会社は、広域的なダイオキシン類対策への取り組みとして、大牟田リサイクル発電事業を実現させるために、福岡県、大牟田市、福岡・熊本両県の参加市町村及び電源開発(株)などの出資によって設立されました。

大牟田リサイクル発電所は、ダイオキシン類対策特別措置法(平成12年1月施行)による新設炉のダイオキシン類排出基準に適合した施設です。

- 代表者 代表取締役社長 木下 興
- 設立 1999年1月
- 従業員数 4名(他に運転保守委託会社等31名)
- 資本金 4億1,000万円
- 所在地 【本社】福岡県大牟田市健老町472
【エコタウン】同上
- 稼動時期 平成14年12月

事業内容

RDF(ごみ固化燃料)の焼却処理及び発電

製品用途

電気

【連絡先】

〈本社・エコタウン〉

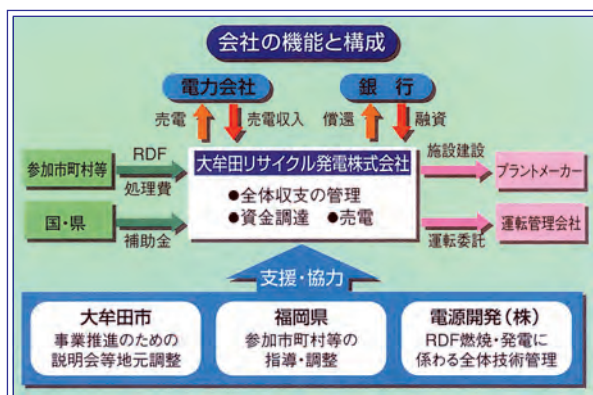
担当者:総務課長 野田 博昭
TEL:0944-41-4288 FAX:0944-41-4289

処理の許可 認証取得 等

《許 可》 一般廃棄物処理施設

工場概要

処理能力:315t/日
発電能力:20,600kw



発電所のシステムフロー

